

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

29年 8月 7日

三田市議会議長 平野菅子 様

本会派（私）は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	日本維新の会	代表者	印 [REDACTED]
	三田市議会議員団	議員名	
派遣者氏名			
視 察 先	小樽市立病院 苫小牧市市役所		
調査事項 (調査目的)	小樽市立病院統合・新築事業 苫小牧市まちなか再生総合プロジェクト事業		
日 時	29年 7月27日(木) ~ 29年 7月28日(金)		
視察先対応者	小樽市病院局 金子氏 鉢呂氏 鈴木氏 苫小牧市 武田氏 新物屋氏		
添付資料	・名刺コピー ・新小樽市立病院改革プラン ・小樽市立病院パンフ ・病院の沿革、概要、施設認定等 ・苫小牧市まちなか再生プロジェクトプログラムパート3 ・とまこまいガイドマップ		

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

調査日時	29年 7月27日(木) 13時00分～15時00分
視察先	小樽市立病院
調査事項	小樽市立病院統合・新築事業
<p>(調査結果の概要及び所見)</p> <p>概要 小樽市内には2つの市立病院があるが、いずれも老朽化が進み、また複数であるため効率が悪く経営状況も厳しいため、これらの問題を解消するため統合新築した。</p> <p>所見 総務省が策定した新公立病院改革ガイドラインに基づき、三田市においても病院機能の見直しや病院事業経営の改革に総合的に取り組まなければならないため、先進地小樽市に調査に行きました。</p> <p>小樽市立病院では、他の医療機関などと連携及び役割分担を進め、445床から338床と病床数を削減しコンパクトで高性能な基幹病院として、質的水準の高い、信頼・安心できる医療を小樽市民だけでなく他の住民にも提供することを目指している。しかし病床を縮小させたものの、病院新築により減価償却費が年10億円を超えることから、かなりの財政負担であり国が示した32年度黒字目標は大変厳しいのではないかと感じました。</p> <p>三田市民病院にない呼吸器、神経科があり屋上にはヘリポート、私が初めて聞いたオープン病棟という、地域の開業医さんが使うための入院ベッドがあり地域との医療連携に有効に活かされると感じ、ヘリポートは各地から救急患者を搬送でき、これからの急性期病院として必要になってくるのではないかと感じました。</p>	

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)

調査日時	29年 7月28日(金) 10時00分～12時00分
視察先	苫小牧市市役所
調査事項	苫小牧市まちなか再生総合プロジェクト事業
(調査結果の概要及び所見)	
概要	人口減少・超高齢化社会に対応可能なまちづくりに向け地域ブランド戦略循環バス、まちなか居住等により交流・定住人口増、都市機能確保を図る。
所見	<p>苫小牧市の食の資源を活用した地域ブランド戦略、商店街との連携による商業の活性化、まちなかグルメ、公式キャラクター「とまチップ」などを最大限に活用し地域ブランド戦略を行っている、また将来を見据えた継続的なまちづくりの必要性から、都市機能の拡散傾向に歯止めをかける施策循環バスの導入、まちなかへの市営住宅の移転、補助制度によるまちなか居住支援等、柔軟に取り入れ人口減少・超高齢化に備えたまちづくりをおこなっている。</p> <p>三田市においても地域活性化の施策は多くありますが、苫小牧市においては市職員が活動し関わっていました。まちづくり即ちひとつづくりの観点から市職員が関わりすぎると、市民の方々が市に頼りすぎないか？と感じ三田市でこのような事業を行うのであれば、明確に市職員はいつまで関わるのか、期限を決め活動し支援しなければならないと感じました。</p> <p>しかし市のパートナーとして、まちづくりを主体的に担う組織や団体を育成したいという本気度は大変すばらしいものがあり、市民や民間のニーズに合った多くの事業、補助のメニューが確立されたまちであると感じました。</p>

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、派遣者氏名は不要)